

『インフルエンザ予防接種について』

新型コロナウイルス感染症の影響で、設備が整わない環境下でのインフルエンザの迅速検査（鼻に綿棒を入れて実施するアレ）を中止するよう、医師会より通達が出ています。この春先は、インフルエンザの検査も治療も実施することが困難になっていました。これから迎えるシーズンも、インフルエンザの検査と治療が困難であることが予測されます。つまり、例年であれば熱が出てダルクて医者にかかれば、その場でインフルエンザの診断が付いて「タミフル飲んで5日間寝ててくださいね」で済んでいたことが、「コロナ感染症かもしれないから保健所か関係個所に電話して指示に従ってくださいね」と門前払いされ、PCR検査の結果が出るまでの2日間、不安を抱きながら家で寝ていることになってしまいます。PCR検査の結果が陰性であってもインフルエンザの検査をしないので治療もしてもらえず、効果のない風邪薬と解熱剤を飲み辛い思いをしながら、場合によっては1週間寝て過ごすことになるでしょう。

そうならない為にも、普段は予防接種を受けない人も今シーズンは予防接種を受けましょう。自分の家族がこのような事態になったら、あなたは何を思いますか？

※インフルエンザのワクチンが不足する予測が出ています。早めに予約時期等、医療機関に問い合わせることを勧めます。

『残念でした。』

はなえくぼ江南には小さいけど立派な畑があります。夏の畑はナス、ピーマン、キュウリ、プチトマトにトウモロコシ。ナスとピーマンは食卓に、プチトマトは散歩の途中でモグモグ。そして一番の楽しみの取れたてトウモロコシ。どんな高級品よりも贅沢な知る人ぞ知る逸品です。こいつの為だけに畑を覗きに行く、と言っても過言ではないくらいです。しかし残念なことに今年はカラスにやられたり、雨と風で倒れたりして収穫ゼロで終わってしまいました。本当に楽しみにしていただけに残念で仕方ありません。



『料理』

グループホームと言えば“手作りご飯”でしょうか。毎日毎食を利用者と職員がご飯を作ります。「この年になると食べることだけが楽しみだよねえ」と毎日せっせとご飯を作っています。

『暑さに負けず』

暑い日が続きますが、暑さに負けず毎日10分程度の散歩に出かけることにしています。

外に出ると「暑いな～、天気の良いな～、気持ち良いな～」と思わず気持ちが漏れ出てしまいます。畑を見たり、近所の神社をお参りしたり、短い時間ではありますが外の風を楽しんでいます。



『防災』

7月の大雨で木曾川の水位が著しく上昇し、どのタイミングで避難しようかと真剣に考えました。ハザードマップでは30～50cm位の浸水となっているので生命の危機はそこまで高くはないのですが。。水害避難所は幸いにもすぐ隣の小学校になっていますが、晴天の下で行う避難訓練とは違い、大雨の中で避難がスムーズに行えるか、避難先での利用者の管理が行えるか不安を感じました。それと同時に、近隣の介護施設と連絡を取り合い、お互いにやることの確認や励ましあえたことは大変心強く感じました。



『気持ちに寄り添うケアを』

認知症の症状には中核症状と認知症の人の行動および心理症状（BPSD）があります。中核症状への対応は比較的容易です。それに対しBPSDへの対応は非常に困難なことが多いです。BPSDの原因には中核症状の放置が挙げられます。例えばオシッコがしたいが中核症状（失認、記憶障害）によってトイレが見つからない。見つからないし我慢の限界がきて部屋の隅やごみ箱にオシッコをしてしまう（BPSD）。この行為は、トイレが分かるようにしてあげれば防げるかもしれませんが。しかしこの行為を見つけたあなたが怒ります。そして次から次に口から出てくる出鱈目な言い訳に更にあなたは怒ります。そんなことが繰り返されるうちにストレスが大きくなってしまいます。

BPSDをやめさせようとする対応を考えがちですが、多くの場合で、なぜBPSDが起きているのかを考えることが症状緩和の近道になっています。

ご見学随時受付いたしております。お気軽にお問い合わせください。

今回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています